

再度、縁の下の力持ちで

理事 高木 稔雄(国-10期)



昨年は“縁の下の力持ちとして”を抱負として掲げ、がむしゃらにやってきましたが、時の理事長や事務局長ほか皆さんの支

えがあって何とかやってこれました。今年度は事務局長という肩書きを頂いていささか荷の重さを感じていますが、また皆さんのご協力・ご支援の下、前向きに事務をこなしていきたいと考えています。

わ本部の仕事は多岐に亘り量的にも多く大変ですが、停滞は許されません。理事長をはじめ全員が一致団結して前向きにこなしています。事務局としても会員の皆さんの活動を円滑に進めて頂くため、今年も再度「縁の下の力持ち」を標榜してタイムリーに果たしていくつもりです。今年にはわ設立10周年という節目の年でもあります。忙しさも倍加していますが、この時期にわ本部に在籍できたことも前向きに捉えたいと思います。さらに今年には事務局の作業の効率化をテーマとして取り組む予定です。会員の皆さんに若干のご負担をお願いするかもしれませんがよろしくお願い致します。今年も会員の皆様のご指導・ご協力をよろしくお願いいたします

組織の抜本見直しを

理事 西田 圭一(生-9期)



このたび、西区会長を退任し、財務担当に就任することになりましたが、西区の竹の台地域では地域との連携して活動する場が

拡大し、わの組織力を認められるようになってきましたが、まだまだ定着したわけでありませんので、今後とも努力する所存です。

一方、財務関係は退職後実務からかけ離れているので、勉強しながら早く役立つように努めます。本年は、わ設立10周年を迎える節目の年ですので、わの組織の抜本的な見直しを行い、NPOとして実りある組織を作っ

ていくよう頑張りますので、皆様のご協力のほどお願いします。

わの活動の歯車として

理事 米倉 和子(生-11期)

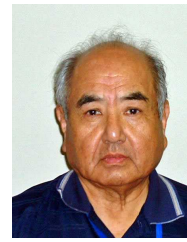


在学中は、2階の端にあるわの事務所にたくさんの方々が出入りされているのを見て何をされているのかと思っていました

が、今回理事として中に入って見ると、グループわの皆様のパワー溢れるボランティア活動を支える歯車でした。私もその一員としてお手伝いしながら素敵な人生を送っていらっしゃるわの先輩方をお手本にしたいと思います。

新米記者に情報提供を

理事 長谷川 洸士(国-11期)



カレッジ卒業後は神戸市安全推進員に専念するつもりでしたが、わ本部から広報担当の要望があり、全く経験がないので、辞退申

し上げたのですが、諸先輩のご指導を受けながら、新しいジャンルに挑戦することにしました。

今後、会員の皆さんが各方面で活動をされている状況を、情報ぎやらりーで広報していきたいと考えています。未経験の新米記者にご指導ご鞭撻を賜り、皆様方の積極的な投稿をお願いいたします。

季節の草花

ヤブガラシ

生8文 久保知彦

この植物が繁茂すると、その土地の養分を吸収して付近の植物を枯らしてしまうとか、他の植物にからみついて光をさえぎって枯らしてしまうなどの理由でこの名がついたようだが、またの名を「ピンボウカズラ」といい、貧乏で庭の手入れが行き届かない家に茂るという意味のありがたくない名前を頂戴している。

ブドウ科の植物で、つる性、やや赤みを帯びたつるに鳥足状複葉という特異な形の葉をつける。

葉の反対側につるを出して(対生)他のものからみつく。次の葉のところから花や枝がでて、次の葉の部分につる、というように一つおきにつるがでる。

花は朝開き、すぐに花弁とおしべが散り、そこに蜜をだすので、スズメバチやアシナガバチなどの虫が集まってくる。

多年生で地下茎が伸びて増える。この地下茎は切られるといたるところから芽をだすので退治しにくい雑草である。

この植物は有史以前に南方から北上して、日本中に広がったものらしい。



花
花弁は4枚
がくはない

花弁や
おしべが
落ちると
蜜を求めて
虫が集まる